

第43回 情報・システム・利用・技術 シンポジウム

<https://aijisa.org/2020/>

日本建築学会 情報システム技術委員会

—— 突然やってきた未来 ——

建築・都市・環境の各分野を横断するITの新しい可能性を追求する場として、情報シンポ2020をオンラインにて開催します。国内外の研究者・実務者による基調講演とダイアログ（パンデミック後のライフデザインと建築を語る／建築BIM推進の取り組みと今後の展開）、研究開発から実用化に至る最先端の技術・システムやデザインに関する発表セッションを実施します。みなさまのご参加と活発な意見交換をお願いします。

会期—— 2020年12月10日(木)～11日(金)

会場—— オンライン（オンライン会議システム Zoom および Remo を利用）

参加費—— (1) 資料あり参加費 *資料はDVD
会員8,000円、会員外9,500円、学生(会員)5,000円
学生(会員外)5,500円

(2) 資料なし参加費

会員3,000円、会員外4,000円、学生1,000円

参加方法——シンポジウム前日までに、会員の方は申込時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方は申込時にご入力いただいたメールアドレス宛に参加に必要な情報をお送りします。

※会期中一度のお支払いで、両日とも参加可能です。

※上記参加区分(1)(2)ともに、全プログラムへの参加が可能です。

※論文／報告／インタラクティブ発表者は参加区分(1)の参加費をお支払いください。

※DVD資料は郵送します。(郵送先は国内限定)

※若手優秀発表賞は表彰式(11日17:30～17:50)で発表しますので、必ずご出席ください。

申込方法/定員—— Web申込み(要事前申込み)/250名

発表者の方はこちら<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637361>

発表者以外の方はこちら<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637157>

申込期限—— 2020年12月4日(金)

※DVD資料をシンポジウム前日までに受け取りにしたい方は11月30日までに申込みください。12月1日以降にお申込みの方は資料の到着がシンポジウム後になる可能性があります。

※資料ありでお申込みの方は情報シンポ公式サイトより資料のダウンロードが可能です。

問合せ—— (一社)日本建築学会事務局 高畑

TEL 03-3456-2057 E-mail takahata@aij.or.jp

●プログラム概要

1. 委員長挨拶

渡辺 俊 (筑波大学)

日時—— 12月10日(木)14:40～15:00

2. 論文／報告発表講演、インタラクティブ発表

期日—— 12月10日(木)9:15～14:30、11日(金)9:15～14:30

① オーガナイズドセッション(OS)

① デザインの数理・知能・科学 (企画：デザイン科学数理知能小委員会)

② 建築・都市分野のVR・MR・メディア 2020 (建築・都市VR・MR小委員会)

② 一般セッション

BIM、VR・MR・AR、AI・機械学習、GIS・都市計画、環境工学、建築計画、最適化、自然言語処理、デジタルファブリケーション・生産・センシング、パラメトリックデザイン

③ インタラクティブ発表

オンライン会議システムRemoを利用してポスター発表(画面共有でのプレゼンテーション)、質疑応答を行います。

※聴講はシンポジウム参加費のお支払い有無にかかわらず、どなたでも可能です。参加方法はこちらをご覧ください。

<https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2020/43.johosanka.pdf>

3. 基調講演

<協賛> アプリクラフト、エーアンドエー、応用技術、オートデスク、構造計画研究所、積木製作、フォーラムエイト、福井コンピュータホールディングス、ホロラボ、ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社

※会期中、オンライン会議システム Remo を利用して、建築分野向けの最新ソリューションの紹介や交流が可能です。

① パンデミック後のライフデザインと建築を語る

【同時通訳(英語⇄日本語)あり】

日時—— 12月10日(木)15:00～17:30

コーディネーター—— 福田知弘 (大阪大学)

松永直美 (レモン画翠)

①A コロナウイルスの流行は私たちのキウィタスを危険にさらしている

講師—— ピーター・カチョーラ・シュマル (ドイツ建築博物館館長)

①B 没入型ソーシャル・バーチャル・リアリティ：パンデミック後の建築における意味の構築

講師—— マーク・アウレル・シュナベル (ビクトリア大学ウェリントン校教授)

①C 新しいものはないのか？パンデミック前と後の生活のための建築研究

講師—— ルディ・スタフス (シンガポール国立大学准教授)

② 建築BIM推進の取り組みと今後の展開

日時—— 12月11日(金)15:00～17:30

コーディネーター—— 渡辺 俊 (筑波大学)

倉田成人 (筑波技術大学)

②A 我が国の建築BIM推進会議における検討状況について

講師—— 田伏翔一 (国土交通省住宅局建築指導課課長補佐)

②B BIMオブジェクトの情報と分類

講師—— 志手一哉 (芝浦工業大学建築学部教授)

②C BIMと標準

講師—— 山下純一 (building SMART Japan代表理事)

4. 表彰式・閉会挨拶

日時—— 12月11日(金)17:30～17:50

5. 交流プログラム

【ネットワーキング】

日時—— 12月10日(木)17:40～19:10

参加費—— 無料(シンポジウム参加費のお支払い有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。)

参加方法はこちらをご覧ください。

<https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2020/43.johosanka.pdf>

【SNS】当日の様子を写真撮影し、公式HPやSNSで発信します。

Twitter ▶ <https://twitter.com/aijisa2016> ハッシュタグ ▶ #情報シンポ

Facebook ▶ <https://www.facebook.com/aijrcist/>

●論文/報告発表講演、インタラクティブ発表プログラム

■12月10日(木)■

【オーガナイズドセッション①】

▼デザインの数理・知能・科学(1)

9:15~10:30.....第1会場.....

司会:小林祐貴(大阪市立大学)

- [H03] グラフ埋め込みと強化学習による鋼構造平面骨組の離散断面設計エージェントの開発 ○林 和希・大崎 純
- [H07] カーネル法に基づくデータ点からの曲面の生成法 ○寒野善博
- [H09] 粒子群最適化法を用いたAuxetic Bending-Active Gridshellの形状設計法 ○堺 雄亮・大崎 純
- [H11] 三角形メッシュの幾何学的不変量を用いた離散曲面分割の基礎的研究 ○早川健太郎・大崎 純
- [H121] デザイン行為における使用と変化と価値 ○長坂一郎

【オーガナイズドセッション②】

▼デザインの数理・知能・科学(2)

10:30~12:00.....第1会場.....

司会:長坂一郎(神戸大学)

- [R62] 形態文法による大阪長屋ファサードの生成と分析 - 阿倍野区を対象として - ○河合優一郎・小林祐貴
- [H64] デザインの認知過程における実体的側面と概念的側面 ○藤井晴行
- [H67] 天王寺区・阿倍野区・住吉区の近隣型商店街の動向に関する研究 ○阿瀬和貴・小林祐貴
- [H79] Class Activation Mappingの安定性及び反応値の検証 - 深層学習を用いた平均訪問意欲推定AIを対象に - ○大野耕太郎・中西達也・中村翔太・山田悟史
- [H97] 可視率分布を用いた他者が見える確率の解析 ○安田 溪・三浦 研
- [H21] デザインパターンの列挙に関する一考察 ○渡辺 俊

▼自然言語処理

13:00~14:00.....第1会場.....

司会:藤井晴行(東京工業大学)

- [R66] 自然言語処理を用いた大手総合建設会社のR&D活動の分析 - 経営戦略への活用を目的としたR&Dトレンド観測と可視化 ○斎藤寛彰
- [R63] テキストマイニングによる建設現場における労働災害の要因分析 ○都築彩音・斎藤寛彰
- [H105] 計量テキスト分析による災害対応課題の構造化に関する研究 - 自治体における災害対応検証を事例として - ○坪井壘太郎
- [H40] 建築オントロロジーの構築に向けた基礎的検討 - 埋め込み表現を用いた階層関係の抽出 ○恒川裕史

【オーガナイズドセッション③】

▼建築・都市分野のVR・MR・メディア2020

9:45~12:00.....第2会場.....

司会:倉田成人(筑波技術大学)

- [H37] 安全と景観への影響評価による屋外大型ディスプレイ設置の社会実験 - 渋谷スクランブルスクエアを事例として - ○福田知弘・福田太郎・久保田勝朗・山田知奈・秋元隆治・角揚一郎・星野一道
- [H51] A Motion Vector Visualization Method on Virtual Reality: A pilot project in civic center complex, Sakaiminato ○福田知弘・灘 英樹・HIROYUKI Fujii・YOANN Pencreach
- [H119] VR技術を活用した免震エキスパンションジョイントの挙動可視化 - 現実的課題を認識させるための支援装置としてのVR技術の可能性 ○満田衛資・中西由衣
- [H38] VRを用いた4Dキャンパスマスタープランの提案 ○村木悠乃・大西康伸
- [H14] A Sharing Method of 3D Physical Objects with Interactive Manipulations in Real-Time over the Internet by Web Real-Time Communication ○石川大地・福田知弘・矢吹信喜

- [H47] MRを通じた縮小された空間情報の提示が鑑賞者の設計への認識に与える影響 ○赤川英之・石田康平・門脇ゆうき・野城智也

- [H13] A Landscape Simulation Method with One-by-one Dynamic Occlusion Using Instance Segmentation in Mixed Reality:Image generation method focusing on the grounding for occlusion ○中林瑞生・福田知弘・矢吹信喜

- [H27] Augmented Reality landscape Simulation System with Occlusion Handling that Allows free Movement by a Small Drone:Improved hardware dependency ○菊池直樹・福田知弘・矢吹信喜

- [H24] 行動特性に着目したMRによる施設維持管理情報の閲覧に関する研究 ○森山大輝・大西康伸

▼VR・MR・AR(1)

13:15~14:30.....第2会場.....

司会:大西康伸(熊本大学)

- [R23] 概念操作に対応した空間操作ジェスチャインタフェースの提案 ○川角典弘・中尾俊祐・稲田優史・北川 仁・輪玉隼也
- [H25] 木材の匂いが空間認識に与える影響に関する研究 ○吉川未来・小笠原正豊
- [R110] 設計教育を目的としたVR建築教材における音声ガイドの効果 ○牛山佳彦・下川雄一
- [H08] ウェアラブルARによるクリーンセンター設備学習教材の開発 ○野田一斗・下川雄一
- [H04] ランドマークによる空間定位の精度と各被験者の注視傾向との関係 ○菊池真由・吉岡陽介

▼GIS・都市計画(1)

9:30~10:45.....第3会場.....

司会:姫野由香(大分大学)

- [H10] モビリティ技術活用による新しい児童通学スタイルの検証 ○稲葉智之・渡辺 俊
- [R52] 祝祭空間へのICTシステム導入とその効果について - 豊橋鬼祭における実証実験を通して - ○水谷晃啓・徳原峻人・村松尚人・中川直樹
- [H16] ポイント型流動人口データを用いた歩行者の観測地点推定方法に関する研究 ○高木尚哉・瀧澤重志
- [R102] GISを用いた洪水災害による被害と避難状況の可視化 - 令和元年台風第19号における栃木県宇都宮市を事例として - ○坪井壘太郎
- [R128] 土石流シミュレーションのための3次元地形モデルの自動生成 ○村瀬孝宏・杉原健一・沈 振江

▼GIS・都市計画(2)

10:45~12:00.....第3会場.....

司会:坪井壘太郎(人と防災未来センター)

- [H44] 地理空間情報システムを用いた生活インフラの撤退計画に関する研究 - 橋梁撤退が住民生活に与える影響の数値化 - ○荒木 望・山田悟史
- [H46] IT技術による地域景観の認識に関する研究 ○宮原樹八・中澤公伯・宮原俊介
- [R99] 敷地併合と空地創出のインセンティブルールを扱う都心地区動態シミュレーションに関する研究 - 名古屋市栄地区を事例として - ○二羽 駆・兼田敏之
- [H112] GISとBIMを用いた城下町の3次元景観評価に関する研究 - 国宝松本城下町の景観形成手法の再考 ○湯田坂美晴・中澤公伯・遠藤陽希
- [R118] 中心市街地における歩行者通行量に影響する回遊因子に関する研究 ○グエン・ティ・フーン・ジャン・姫野由香・古海裕実子・チョン・ジェフン

▼最適化(計画・環境)

13:15~14:30.....第3会場.....

司会:瀧澤重志(大阪市立大学)

- [H54] 遺伝的アルゴリズムを使った照明計画に関する考察 ○中村瑞貴・杉田 宗
- [R114] 教科教室型校舎における移動時の混雑緩和に関する研究 ○藤川滉暉・山邊友一郎・谷 明勲
- [R20] BIMおよび遺伝的アルゴリズムを用いた応急仮設住宅の配置最適化に関する研究 ○原 好佑・大西康伸
- [R77] MASを用いた建築資材のリユースによる資源循環型社会の構築に関する研究 ○徳勝遊子・山邊友一郎・谷 明勲

●論文/報告発表講演、インタラクティブ発表プログラム

- 44 [R107] GAを用いた駅周辺地域における道路・施設・住空間配置最適化
○金山佳史・山邊友一郎・谷 明勲

▼AI・機械学習(1)

10:00~12:00……第4会場
司会: 松林道雄(釧路工業高等専門学校)

- 45 [H22] Automatic Generation Method of Horizontal Building Mask Images by Using a 3D Model with Aerial Photographs for Deep Learning: Improvement of training accuracy by removing thin clouds in aerial photographs using Generative Adversarial Network
○池野和之介・福田知弘・矢吹信喜
- 46 [H61] 全方位画像から生成した深度マップを用いた3D都市景観を再構築する深層学習モデルと視覚的嗜好予測への応用
○衣川 雛・瀧澤重志
- 47 [R116] 山岳地帯での遭難者救助を想定した、赤外線カメラを使用した人物検出に使用するデータセットの検討
○塩崎雄晴・入江寿弘・小林伸彰・新宮清志
- 48 [H124] 現場安全性・生産性向上のための深層学習とコンピュータビジョンによる人物・位置・動作の認識に関する研究
○上田航平・本田悠樹・加戸啓太・平沢岳人
- 49 [H71] Deep Learningを用いた心理評価に基づくデザイン生成AI
○中西達也・大野耕太郎・中村翔太・山田悟史
- 50 [H31] 機械学習による鋼管杭鉄骨柱一体構造物の応力予測
○森友義弥・藤田慎之輔
- 51 [R65] 木造建築物の地震被害を対象とした応急危険度判定の自動化に関する研究 - 「壁の被害」を対象とした画像判定 -
○横井秀平・谷 明勲・山邊友一郎
- 52 [H41] 深層学習を用いた建物通風の気流予測に関する研究 - 東京電機大学千住キャンパス千住東書庫棟を例として -
○池田 開・小笠原正豊

▼AI・機械学習(2)

13:15~14:30……第4会場
司会: 満田衛資(京都芸芸繊維大学)

- 53 [H45] 機械加工に向けた深層学習によるドリル加工部の検出に関する研究
○福本健人・古庄玄樹・加戸啓太・平沢岳人
- 54 [H125] オープンデータを用いた勾配ブースティング手法による建築工事予測モデルの検証
○仲川正則・北原英雄・加藤万理・世古口元伸
- 55 [H43] Deep Learningを用いた都市空間における人の行動の予測 - 居住人口及び滞留人口を対象に -
○中村翔太・大野耕太郎・中西達也・山田悟史
- 56 [R115] Discovering Design Change Pattern Through Versioning
○Verina CRISTIE・Jason LIM・Sam C JOYCE
- 57 [R117] セメントペーストの電気化学的な含水率推定におけるlassoの適用
○藤本郷史・小口峻平

■12月11日(金)■

▼パラメトリックデザイン

9:30~10:45……第1会場
司会: 下川雄一(金沢工業大学)

- 58 [H06] 室内空間のインタラクティブデザインに関する研究
○夏 宇
- 59 [H42] Generative Design Approach for Modeling a Rhythmic Façade (Case Study: Colonial Building in Kota Lama, Semarang)
○Mustika Kusumaning WARDHANI・Deni Wahyu SETIAWAN
- 60 [H69] ビジュアルプログラミング環境における設計支援プラットフォームの構築 - その3 ツールの機能拡張と活用状況 -
○佐竹浩芳・黒木光博
- 61 [H127] 窓設置可能な壁を明確化する建物ポリゴン分割及び整形による3次元建物モデルの自動生成
○杉原健一・沈 振江・村瀬孝宏
- 62 [H113] 群論に基づく多面体の射影図を用いた建築骨組の作成
○前 稔文・田淵愛佳・小林竜一・藤本教寛・松本裕司

▼インタラクティブ発表

11:00~12:00(準備10:40~)……第1会場
司会: 水谷晃啓(豊橋技術科学大学)

- 63 [Z57] デジタルファブリケーションを活用した木組みパーティション
○奥川航大・杉田 宗・中村瑞貴

- 64 [Z126] レゴブロックを用いた対話型交通シミュレーション - 筑波大学キャンパスにおける新モビリティシステム導入の可能性 -
○下津大輔・西村詩央里・山村悠一朗・小山慧太・太田和志・岡本大河・加古捺巳・ソルステインソン慧ゲンナル・橋村ちひろ・野口宇宙・安東弘泰・大澤義明

- 65 [Z131] 形状に沿った映像投影技術による空間演出システムの開発
○吉田和人・出原立子

- 66 [Z132] VR空間における自然環境の非現実的デザインと体験時間・生理反応・満足度の関係性 - VR zone out -
○小池田樹・横田芙実子・村上雅也・神長伸幸・山田悟史

▼VR・MR・AR(2)

9:30~10:45……第2会場
司会: 藤井健史(立命館大学)

- 67 [H83] VR空間における高さ知覚の特性把握に基づくVR酔いの低減仮説の検証 - VR建築理論に向けた空間デザインの基礎研究 -
○村上雅也・小池田樹・横田芙実子・神長伸幸・山田悟史
- 68 [H93] VR空間の自由度を活かしたVRお風呂 - VR空間の印象に及ぼす現実空間とのリンクパターン -
○横田芙実子・小池田樹・村上雅也・神長伸幸・山田悟史
- 69 [H85] 経路の混雑の性質に対して最も視認しやすい拡張現実型経路案内の表示高さ
○吉原真由・吉岡陽介
- 70 [H17] VR技術を用いたLODの変化にともなう印象評価に関する研究
○岡本 衛・小笠原正豊
- 71 [H12] 経路幅が人間の距離知覚と経路歩行時の注視位置に与える影響
○米澤健太・吉岡陽介

▼BIM

13:00~14:45……第2会場
司会: 前 稔文(大分工業高等専門学校)

- 72 [H05] 漏水発生の可能性を検討するためのBIMデータを用いた要素位置を表示するツール
○松林道雄
- 73 [R19] 部材構成に着目したBIMによるプレハブ応急仮設住宅の数量表および設計図書の前作成プログラムの開発
○玉木蒼乃・大西康伸
- 74 [H55] ロボットとBIMの連携による清掃システムに関する研究
○長谷川直人・澤 海斗・杉田 宗
- 75 [H29] BIMを活用したランドスケープ・インフォメーション・モデリング - その2 時間軸を考慮したランドスケープエレメントの検討 -
○細井大佑・中澤公伯・小林 新・鳥瀧祐樹
- 76 [R94] オフィスプランニングにおけるBIM活用の効果に関する研究 - 個人とグループによるプランニング実験をとおして -
○松本裕司・谷川羅依騎
- 77 [H15] BIM MandateおよびBIM Execution Plan運用状況 - 米国西海岸地区での大学施設での実用事例調査 -
○柳澤洋行
- 78 [H104] BIMを活かした中小企業による協働の実践 - ヒロシマBIMプロジェクト・フェーズ1 -
○杉田 宗・田原泰浩・長谷川統一・藤田慎之輔・平賀幸壮・中村瑞貴・長谷川直人・川口翔太

▼デジタルファブリケーション・生産・センシング

9:15~10:45……第3会場
司会: 杉田 宗(広島工業大学)

- 79 [H48] 光ファイバセンサを用いた振動台実験におけるタイルの剥離検知および地震損傷モニタリングに関する研究
○関根麻里子・工藤正智・早野博幸・寺本篤史・大久保孝昭・楠 浩一
- 80 [H70] 宮大工の技術的暗黙知の多角的保存と可視化 - Human Computer Interaction技術を用いた伝統技術の継承 -
○小島尚之・高崎将太郎・原田真衣・谷口千明・山田悟史
- 81 [H122] チップスケール原子時計を搭載した自律型時刻同期デジタルセンサモジュール
○倉田成人
- 82 [H84] 深層強化学習による五軸加工機の迂回動作の自動生成に関する研究
○藤岡凌司・古庄玄樹・加戸啓太・平沢岳人
- 83 [H58] 実プロジェクト情報を用いた鉄骨設計意思決定タイミングの分析
○古川 暁・吉田知洋・紀 乃元・岡本裕之・古阪秀三
- 84 [H89] 鉄骨工事における製作図面管理の実態調査
○吉田知洋・古川 暁・紀 乃元・岡本裕之・古阪秀三

●論文/報告発表講演、インタラクティブ発表プログラム

▼環境工学

13:00~14:45……第3会場……

司会：吉田友妃子（アール・アイ・エー）

- 85 [R76] 昼光・照明解析に基づく居室の利用目的・時間を考慮した照明エネルギー消費量の推定 ○稲垣古城・沈 振江・杉原健一・関口達也
- 86 [R108] PMVを指標とした室内環境制御に関する研究 —空調機等の運転設定とPMV・消費電力の計測—
○澤井玲二・谷 明勲・山邊友一郎
- 87 [H81] 建築設計支援を目的とした3Dデジタル環境カルテの作成 ○齋藤優至・円井基史・大音師洋実
- 88 [H36] 市街地の風環境におけるネスティング領域に関する研究 —CFD解析と実測の比較を通して—○三部玲子・小笠原正豊
- 89 [R02] 神戸地方気象台における確率降水量に関する研究 —淀川チャネル型大雨の影響を受ける再現期間100年の降水量の算出方法— ○野々村善民・島脇優里
- 90 [H95] 福井県における確率降水量に関する研究 —その1 複数の1時間降水量データの相関性に関する検討—
○岸本拓海・野々村善民・島脇優里・達川宙輝
- 91 [H96] 福井県における確率降水量に関する研究 —その2 日最大1時間降水量の発生頻度の算出方法に関する検討—
○達川宙輝・野々村善民・島脇優里・岸本拓海

▼最適化（構造）

9:15~10:45……第4会場……

司会：山邊友一郎（神戸大学）

- 92 [H26] アイソパラメトリック四辺形要素を用いた離散曲面制御 ○藤田慎之輔
- 93 [H30] シグモイド関数を使用したシェルの形状・板厚分布同時最適化 —シグモイド関数の傾きの差異による収束性の考察—
○渡辺哲平・藤田慎之輔
- 94 [H32] 斜め柱を考慮したシェル屋根の柱配置最適化
○小南修一郎・藤田慎之輔
- 95 [H33] OpenSees for GrasshopperとWallaceitによるCLT折版構造のパラメトリックスタディ ○齋藤魁利・藤田慎之輔
- 96 [H34] 連続変数問題として解く鋼構造骨組の断面最適化
○竹下佳太・藤田慎之輔
- 97 [H49] 剛性と崩壊荷重係数を目的関数として考慮した鋼構造物の構造最適化 ○西江太成・藤田慎之輔

▼建築計画

13:00~14:30……第4会場……

司会：加戸啓太（千葉大学）

- 98 [R50] 待ち時間情報提示による複数施設の混雑平準化の効果分析 —学生食堂とコンサート会場周辺のトイレによるケーススタディー— ○木下芳郎
- 99 [R80] 動画像からの歩行速度と注目領域の建物ファサード要素の分布量推定 —建物ファサード要素が歩行速度の増減に及ぼす影響分析を交えて— ○関口達也・塚越俊介・沈 振江
- 100 [R92] 自己組織化マップを用いた場所毎の視界幾何特性の類型化 —見えの大きさによる複数建築の横断的分析手法の提案—
○清水拓也・下川雄一・廣瀬寛騎
- 101 [H68] 情報技術を用いた遠隔コミュニティ内の状態共有に関する意識調査 ○谷口千明・原田真衣・小島尚之・山田悟史
- 102 [H82] 建築空間の視界幾何特性分析ツールの開発 —開口部から見える景色の視界幾何特性分析手法の提案—
○廣瀬寛騎・下川雄一
- 103 [H130] 高齢者のコミュニケーションと健康をサポートするインテリジェント・インフィルの研究
○渡邊朗子・松本直樹・Spiga Fabrizio DANIELE・趙 晟恩

R：論文／H：報告／Z：インタラクティブ発表

※司会者は予定です。変更になる場合があります。

第43回情報・システム・利用・技術シンポジウム
部屋割り

会場 期日	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
12月 10日 (木)	午前 9:15-10:30 ▼OS①: デザインの 数理・知能・科学(1) 10:30-12:00 ▼OS①: デザインの 数理・知能・科学(2)	9:45-12:00 ▼OS②: 建築・都市分 野のVR・MR・メディア 2020	9:30-10:45 ▼GIS・都市計画(1) 10:45-12:00 ▼GIS・都市計画(2)	10:00-12:00 ▼AI・機械学習(1)
	午後 13:00-14:00 ▼自然言語処理 14:40-15:00 委員長挨拶: 渡辺 俊 15:00-17:30 基調講演「パンデミック後のライフデザイン と建築を探る」 ①A コロナウイルスの流行は私たちのキ ウィタスを危険にさらしている : ピーター・カチョーラ・シュマル ②B 没入型ソーシャル・バーチャル・リア リティ: パンデミック後の建築における 意味の構築 : マーク・アウレル・シュナベル ③C 新しいものはないのか? パンデミック 前と後の生活のための建築研究 : ルディ・スタフス 〈コーディネーター〉: 福田知弘 松永直美 17:30 集合写真 17:40-19:10 ネットワーキング	13:15-14:30 ▼VR・MR・AR(1)	13:15-14:30 ▼最適化 (計画・環境)	13:15-14:30 ▼AI・機械学習(2)
12月 11日 (金)	午前 9:30-10:45 ▼パラメトリックデザイン 11:00-12:00(準備10:40~) インタラクティブ発表	9:30-10:45 ▼VR・MR・AR(2)	9:15-10:45 ▼デジタルファブリ ケーション・ 生産・センシング	9:15-10:45 ▼最適化 (構造)
	午後 14:55 集合写真 15:00-17:30 基調講演「建築BIM推進の取り組み と今後の展開」 ①A 我が国の建築BIM推進会議におけ る検討状況について : 田伏翔一 ②B BIMオブジェクトの情報と分類 : 志手一哉 ③C BIMと標準 : 山下純一 〈コーディネーター〉: 渡辺 俊 倉田成人 17:30-17:50 表彰式・閉会挨拶	13:00-14:45 ▼BIM	13:00-14:45 ▼環境工学	13:00-14:30 ▼建築計画

* ▼印は論文/報告発表講演 [1 題15分、103題、オーガナイズドセッション(OS)を含む]、インタラクティブ発表 [4題]